

各 位

上場会社名	ウライ株式会社
代表者	代表取締役社長 裏井 紳介
(コード番号)	2658)
問合せ先責任者	取締役総務統括本部長 齊木正一
(TEL)	075-361-0330)

平成24年3月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月8日付当社「平成24年3月期第3四半期決算短信(連結)」において発表いたしました平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,300	100	60	50	4.66
今回修正予想(B)	10,234	105	77	82	7.67
増減額(B-A)	△66	5	17	32	
増減率(%)	△0.6	5.0	28.3	64.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	11,066	89	59	△176	△16.22

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	130	60	50	4.66
今回修正予想(B)	9,927	142	75	81	7.55
増減額(B-A)	△73	12	15	31	
増減率(%)	△0.7	9.2	25.0	62.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	10,740	97	78	△177	△16.24

修正の理由

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興への取組みにより、景気に一部持ち直しの動きが見られたものの、欧州諸国における財政問題等を起因とする世界経済の減速や、円高、株価低迷等による企業収益への影響が懸念されるとともに、個人消費におきましても雇用情勢や所得環境の厳しい状況下、消費マインドが低調に推移するなど景気は依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、事業部門取扱商品の相乗効果による販売の強化、消費者への商品提案を中心とした商品開発と原価率改善を目的に商品管理体制の改善を行うとともに、販売促進企画の提案や催事展開の効率化、固定費の削減など営業効率の改善に努めてまいりました。売上高につきましては、きもの事業が6,135百万円(前回予想比:105百万円の増加)、ジュエリー事業が1,721百万円(前回予想比:79百万円の減少)、ファッション事業が2,377百万円(前回予想比:93百万円の減少)となり、合計で10,234百万円(前回予想比:66百万円の減少)となる見込みであります。営業損益におきましては、売上総利益率の向上と販売費及び一般管理費の削減に努力しました結果、105百万円(前回予想比:5百万円の増加)の営業利益となる見込みであり、経常損益におきましても77百万円(前回予想比:17百万円の増加)の経常利益となる見込みであります。当期純損益におきましては、特別損失に投資有価証券評価損6百万円を計上し、また、法人税等調整額16百万円のマイナスもあり、当期純利益は82百万円(前回予想比:32百万円の増加)となる見込みであります。

なお、個別の修正理由につきましては、連結子会社は2社ありますが、その修正に及ぼす影響は軽微であることから、連結業績予想の修正理由と同一であります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (24年2月8日発表)	—	0.00	—	0.00	0.00
今回修正予想	—	—	—	2.00	2.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成23年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

当社は株主尊重として、株主の皆様に対する利益還元につきましては、経営の最重要課題として位置づけておりますが、長期的な経営基盤の安定を図るため、内部留保にも考慮しながら利益配分を実施していくことを基本といたしております。当社は、平成19年3月期以降、きもの市場の急速な縮小に伴う厳しい経営環境の中、誠に遺憾ながら、無配の継続等株主の皆様には大変なご心配をおかけしてまいりました。しかし、この間、当社では収益状況に見合った適正な要員の実現を図るとともに、利益計上体制の構築に向けて収益力の強化と財務体質の改善に取り組んでまいりました。その結果、平成23年3月期は営業利益、経常利益において黒字に転換、また、当期末においては当期純利益を計上できる見通しとなりました。このような状況を鑑み、今後の事業展開や内部留保等を総合的に勘案した結果、株主の皆様のご支援にお応えすべく、1株当たり2円の期末配当を実施する方針といたしました。

なお、配当につきましては、平成24年6月28日開催予定の第62回定時株主総会の決議を経て実施する予定であります。

(注)上記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上